

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準評価方法
満期保有目的の債券……償却原価法（定額法）によっている。
- (2) 固定資産の減価償却の方法
器具備品及びソフトウェア……定額法によっている。
- (3) 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	49,226,794	41,794		49,268,588
小 計	49,226,794	41,794		49,268,588
特定資産				
投資有価証券	500,502,277	137,391		500,639,668
助成事業引当資産	15,004,010	11,000,000		26,004,010
特定資産当座預金	5,973,072		5,973,072	
特定資産定期預金	9,623,525	376,475		10,000,000
小 計	531,102,884	11,513,866	5,973,072	536,643,678
合 計	580,329,678	11,555,660	5,973,072	585,912,266

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
投資有価証券	49,268,588	(49,268,588)	(0)	(-)
小 計	49,268,588	(49,268,588)	(0)	(-)
特定資産				
投資有価証券	500,639,668	(498,639,668)	(2,000,000)	(-)
助成事業引当資産	26,004,010	(26,004,010)	(0)	(-)
特定定期預金	10,000,000	(10,000,000)	(0)	(-)
小 計	536,643,678	(534,643,678)	(2,000,000)	(-)
合 計	585,912,266	(583,912,266)	(2,000,000)	(-)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取 得 価 額	減 価 償 却 累 計 額	当 期 末 残 高
メダル刻印原型	300,000	299,998	2
ソフトウェア	386,400	206,080	180,320
合 計	686,400	506,078	180,322

5. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	帳簿価額	時 価	評価損益
第122回利付国債 (20年)	49,268,588	54,295,000	5,026,412
第483回関西電力社債	99,831,350	98,570,000	△1,261,350
第34回三菱東京UFJ銀行社債	100,000,000	101,597,800	1,597,800
日本生命2011基金社債	2,000,000	2,023,800	23,800
第25回三菱東京UFJ銀行社債 (劣後特約)	99,727,406	105,233,000	5,505,594
第61回利付国債 (20年)	99,379,705	104,150,000	4,770,295
第120回利付国債 (20年)	99,701,207	105,707,000	6,005,793
合 計	549,908,256	571,576,600	21,668,344

6. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
基本財産運用益の振替額	900,000
特定資産運用益の振替額	5,778,786
合 計	6,678,786